

沢を「渡る」だけじゃない、秋の西丹沢

西丹沢ビジターセンター

秋の西丹沢では、木々の色づきや木の実、夏とは違う澄んだ空気など、歩くたびに季節の移ろいを感じることができます。

西丹沢の山歩きで、もう一つ楽しんでほしいのが「沢」です。登山道を歩いていると、森の中から水の音が聞こえてきたり、沢を渡ったりする場面があります。そんなとき、少し足を止めて、靴と靴下を脱いでみるのはいかがでしょうか。

冷たい沢水に素足を入れると、足裏からひんやりとした刺激が伝わり、思わず身体がしゃきっとします。実はドイツには、冷たい水に足を浸したり、水の中を歩いたりする「水踏み」という健康法があります。19世紀にセバスチャン・クナイプが広め、現在も親しまれています。

紅葉を眺めるだけが秋の山ではありません。森の音を聞き、風を感じ、沢の冷たさを素足で感じる。この秋は、沢を「渡るため」ではなく、「感じるため」に、そっと靴を脱いでみませんか。

※沢に入る際は、天候や水量、足元の状況を確認し、安全な場所で無理のない範囲でお楽しみください。

(執筆：管)



はだして沢を感じる様子



自然公園へでかけよう



公式SNSは二次元コードから！

県立秦野ビジターセンター
Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel 0463-87-9300
<https://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>



X(エックス)



X(エックス)

県立西丹沢ビジターセンター
(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川867
Tel 0465-78-3940
<https://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

環境省箱根ビジターセンター
Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
Tel 0460-84-9981
<https://hakonevc.sunnyday.jp/>



Facebook

人間が自然の絶景等を身近に楽しむためには、何が必要でしょうか。それは、人間が作った「人工物」です。

たとえば奥入瀬溪流脇の道路、黒部アルペンルートのロープウェイや電気バス、尾瀬ヶ原の木道などです。この人工物が無ければ、絶景地には辿り着くことができません。

箱根で言えば、芦ノ湖の海賊船や整備された登山道もこれに含まれます。

箱根ビジターセンターでは年間計画に基づき、使い道がない間伐材を利用して、雨等で削られ滑りやすくなった登山道の補修の手助けを続けています。

安全のためには、人間が作った人工物の現状を維持し、それを損なわないための活動が必要です。

自然公園に来られた方々は、ゴミを捨てないなど最低限のマナーを守ってください。自然公園は「世界遺産」と同じような大切な財産だと思って親しんでいただければ幸いです。

(執筆：塩川)



登山道補修の様子

ツキノワグマについて学んでみませんか？

秦野ビジターセンター

秋、ツキノワグマは冬ごもりに向けて栄養を蓄える季節です。ミズナラやブナなどの脂質の多いどんぐり類をはじめ、多種多様な食べ物を求めて広範囲を動きまわります。そして、目撃情報が増える時期にもなります。

もともとの性格は警戒心が強く、慎重だと言われるツキノワグマ。他地域では、市街地に現れたり、人が襲われたりと騒がれることも多くなっていますが、丹沢にすむツキノワグマはどのようなのでしょうか。

秦野ビジターセンターでは、企画展「丹沢に生きるツキノワグマ」を12月13日（日）まで開催しています。皆さんからよく聞かれる質問をもとに、大きさ、特徴、食べ物などの基本的なことから、丹沢での状況をまとめて展示してみました。

ただ「怖い」と思うだけではなく、ぜひツキノワグマのことを少しでも知っていただき、人とクマとの共存について考えるきっかけとしていただければと思います。



ツキノワグマ企画展の様子

(執筆：谷脇)